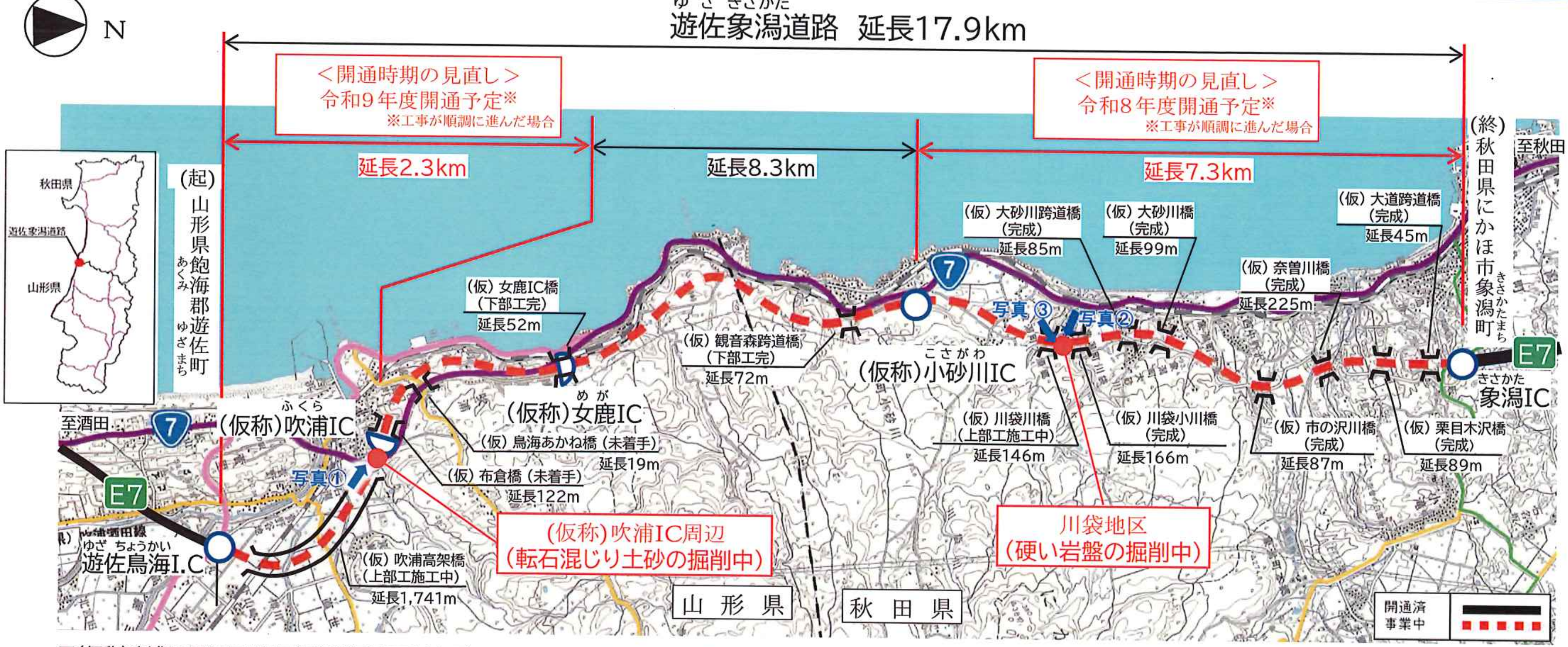
遊佐象潟道路の工事状況（遊佐鳥海IC～象潟IC）



▼(仮称)吹浦IC周辺における掘削状況（転石が出現）

▼川袋地区における掘削状況（硬い岩盤が出現）

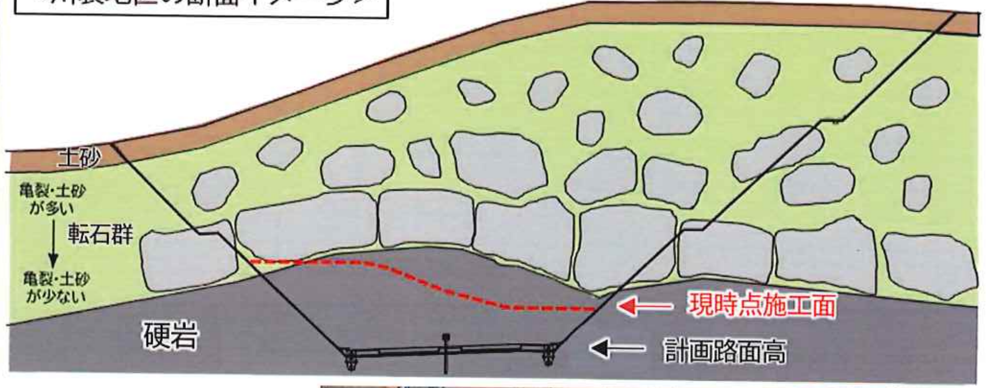
▼川袋地区で出現した硬い岩盤

遊佐象潟道路の工事状況（川袋地区）

○川袋地区において、地山から当初想定しなかった硬い岩盤（硬岩）が出現。
○これまでは、ブレーカーにて容易に掘削できていたところ、出現した岩盤は非常に硬く、複数台のブレーカーを投入し掘削を進めているが、多大な時間と労力を要している状況。
○岩盤は計画路面高まで続くものと想定され、残る掘削作業が順調に進んだ場合でも、開通は『令和8年度』となる見込み。

<川袋地区の全景>

<川袋地区の断面イメージ>



<掘削状況>

➢ 複数台の重機を投入するなど工夫しているものの岩盤は非常に硬く掘削に時間を要している

➢ 川袋地区において出現した岩盤（硬岩）

➢ ブレーカー先端の摩耗状況

遊佐(ゆざ)象潟(きさかた)道路の工事状況 （(仮称)吹浦(ふくら)IC周辺）

○(仮称)吹浦IC周辺において、<u>地山から想定以上の転石が出現</u>。
○通常、転石については別の場所に運搬した後、小割作業を行うところ、<u>出現した転石はとても大きく、運搬ができない</u>ため、埋まっている状態で小割する必要があり、<u>複数台の重機にて掘削しているが多大な時間と労力を要している状況。</u>
○今後も多くの転石が出現すると想定され、<u>残る掘削作業が順調に進んだ場合でも、開通は『令和9年度』となる見込み</u>。

<(仮称)吹浦IC周辺の全景>

➢ 掘削する地山から転石が出現(巨大な転石の出現)

<掘削状況>

➢ 大きい転石は掘り起こすことができず、埋まっている状態で小割する必要があり施工効率が低下

<掘削状況>

➢ 小割する機械を2台体制にするなど工夫しているものの転石処理に時間を要している